

町政を問う!

一般質問 全議員が登壇

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

- 松浪健一郎 議員 1 これからの街づくりについて
- 田中 種夫 議員 2 小・中学校の不登校と、いじめ問題について
- 田中 種夫 議員 1 あんずの里づくりについて
- 田中 種夫 議員 2 イメージキャラクター「はーとん」について
- 日坂 和久 議員 1 古代瓦のふるさと鳩山再現事業と農村公園等町内資源の有効活用について
- 日坂 和久 議員 2 福祉・健康複合施設整備と地域福祉の担い手育成について
- 小川 唯一 議員 1 特定健診について
- 小川 唯一 議員 2 農業行政について
- 森 利夫 議員 1 全町公園化と農村公園について
- 森 利夫 議員 2 地域福祉推進について
- 野田小百合 議員 1 鳩山ニュータウン地区 都市再構築戦略事業について
- 野田小百合 議員 2 人口減少時代の公共施設等のあり方について
- 野田小百合 議員 3 将来の教育環境について
- 中山 明美 議員 1 地域包括ケアシステム構築に向けて
- 中山 明美 議員 2 空き家対策について
- 根岸富一郎 議員 1 子ども・子育て支援法の施行について
- 根岸富一郎 議員 2 あんずの里づくりについて
- 根岸富一郎 議員 3 次期更新施設建設の協定について
- 松田 隆夫 議員 1 国民健康保険財政の健全化に向けて
- 松田 隆夫 議員 2 (仮称)福祉・健康複合施設について
- 松田 隆夫 議員 3 積雪による町内道路の除雪対策について
- 小鷹 房義 議員 1 「鳩山の夏の曇りを考える」について
- 小鷹 房義 議員 2 計次 議員
- 石井 計次 議員 1 町の財政について
- 石井 計次 議員 2 ボランティア活動について
- 石井 計次 議員 3 河川・道路行政について
- 小峰 文夫 議員 1 小さな町から大きな夢をもって、町おこし、について
- 小峰 文夫 議員 2 企業誘致について
- 小峰 文夫 議員 3 今宿小学校について
- 鳩山中学校について

北部開発

北部地域活性化の現状は

事業等の確定に至っていない



松浪 健一郎 議員

問 北部地域活性化について、何年計画で、予算、事業内容を伺う。

答 最初の5年間を計画期間。実施状況を踏まえて計画の見直しを行う。予算規模等については、申し上げられない。基金についても、一般会計から数%積むとか、計画的な積み立てができればいいが、来年度予算で、一定の額を確保したい。事業内容については、推進地区である泉井・上熊井地区との話し合いの中で具体化するものと考えている。ただ、現時点で北部地域活性化施策の計画年数、予算額、事業予定等を明示することは困難である。

問 北部地域の町づくりについて、プランは示したのか。

答 北部地域活性化ビジョンを作成し、泉井地区の町づくりビジョンと両方を加えた協定書を作成した。この協定書をもとに、協議し事業を進めている。



開発が待たれる北部地域

問 この協定書により、何の事業を行うのか。

答 泉井地区に活性化委員会を組織し、既に3回開催しているが、事業等の確定に至っていない。いじめに対する対策や教育について伺う。

答 全ての学校でいじめ防止基本方針を作成、発生した場合の対応、学級づくり、指導、保護者との連携について定めている。ネットいじめについても、不適切なネットへの投稿がないか、毎日埼玉県教育委員会で、専門の職員3人を配置して調べている。

田中 種夫 議員



試験栽培

あんずの里の進捗状況はどうか

来年度の収穫が望める

問 あんずの里づくりがスタートして約3年が経過したが、進捗状況、また今後の展開はどの様に予定しているか。

答 プロジェクト委員の人数、栽培面積、収穫量などは。

答 プロジェクト委員は広報紙などで募集し、30人となっている。現在の圃場は25筆、約2万平方メートルとなり、3年間の総本数は680本となっている。来年度からは収穫が期待できると思われる。

なお、鳩山の風土でも栽培が可能だが確認できたので、今後は6次産業化も踏まえ、生産・加工・販売を担う法人化に向けて進んでいきたい。なお、試験栽培は28年度終了を目標としている。

今後は作業員の人数も今まで以上に必要になるので人員確保に努め、県の指導を受け鳩山に合った対策を講じていく。

問 はーとんについて伺うが、現在の関連グッズはいかほどか。どこで

販売されているのか、販売実績はどうか。また訴求方法はどうか。ゆるキャラグランプリが始まっているがどのような訴求方法か。また今後の販売予定はいかがか。

答 グッズとしてはポロシャツ(大人・子供)・ぬいぐるみ(大・小)・キーホルダー・自由帳など6種類である。ポロシャツは受注生産のため、販売方法を検討する。グッズの販売店は旬の花をはじめ、それぞれの自社店となっている。新規アイテムについては、ホームページなどで募集しているが、希望がない現状である。今後の販売予定は商工会とも連携をとり検討する。グランプリについては訴求ができなかった。



収穫が期待されるあんずの里(須江地内)

日坂 和久 議員



福祉健康複合施設

旧松栄小跡は総合的福祉拠点なのか

各種の福祉拠点として連携させる

古代瓦のふるさと鳩山再現と農村公園等の有効活用

問 新沼窯跡は可視化か、埋設保存か。

答 学術評価委員に確認し、可視化も検討する。

問 農村公園に建設可能な建築物は。

答 ミニレストラン・窯跡小屋も申請し開発許可はあるが、実際に建てるには県許可が必要。

問 窯跡テーマパークを併設できないか。

答 国指定史跡になった場合、可能と考える。

問 鳩山のいち押し事業でもあり、国分寺市と連携して、古代工房体験学習等、広範囲にPRすべきでは。

答 確かに、町内外へPR不足だ。近隣自治体へポスターの配布等検討する。

問 農村公園から新沼窯跡への窯跡あるくロードを整備してはいかがか。

答 公園から大橋水穴、金澤寺前町道を経て、新沼窯跡が効率的と考える。

福祉・健康複合施設と地域福祉の担い手育成

問 特養には町民が優先入所できるのか。

答 優先入所指針に基づき、整備法人に求める。

問 総合的福祉複合施設と受け取るかがかか。

答 高齢者・子供・障がい者を含めた福祉の拠点である。

問 特養・付帯施設・多世代活動交流センター等施設全体の調整担当は。

答 政策財政課だ。

問 地域福祉の担い手として、有償ボランティアについて見解はかがかか。

答 既に町内で有償の支援活動はある。重要な制度と考える。



旧松栄小跡地に整備される福祉健康複合施設イメージ

小川 唯一 議員



農業行政

生薬栽培で農業の活性化を

6次産業化を本格的に取り組む時期

問 特定健診の目的、成果、課題について伺う。

答 目的は、国保被保険者の生活習慣病の発症の予防、成果は糖尿病など発症リスクの軽減、課題は受診率の向上。

問 過去5年間の受診率の推移は。

答 平成20年度30.5%、21年度28.4%、22年度28.8%、23年度32.1%、24年度33.9%であった。

問 平成26年度の反省点と対策は。

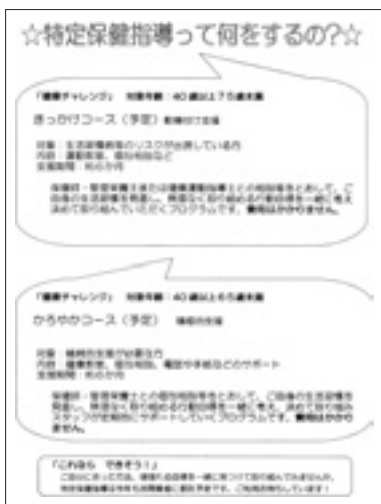
答 受診率向上に努力している。

問 受診率の数値をどのようにみているか。

答 近隣市町村と比較しても下回っている。周知等行っていきたい。

問 日

本人間ドック学会が、新たな健康基準値を発表したが、基準値範囲、正常値の考え方を伺う。



特定健診を受けましょう

答 専門的なことで、国・関係機関が示す数値により実施する。

問 生薬栽培で町の農業の活性化はできないか。

答 現時点では何を栽培したらよいか、専門の大学、製薬会社との連携を構築することが必要。

問 生薬の需要量は増加が見込まれ輸入の多くは中国から。米価の下落等、産業のクラスタ化で町の農業の活性化を。

答 生薬栽培を起点に農家所得の確保、関連企業の誘致で、町に新たなネットワークの創造かと考えるが、町では6次産業化を本格的に取り組む時期である。

森 利夫 議員



全町公園化

全町公園化構想の現状は

全体的に順調に進んでいない

問 全町公園化構想は現状では、全体的に順調に進んでいないとのことであるが、整備拠点である現状の農村公園を有効活用し、たくさんの人を呼び込むことが全町公園化構想の実現になると思う。この様な取り組みを町はどの様に考えるか。

答 拠点整備が順調に進んでいない要因として財源確保の課題が大きい。拠点整備は利用者の生の声を聞きながら、魅力ある施設として活用することで、町に賑わいが創造される。関係課と知恵を出し合いながら、四季折々の花や、古代窯等の歴史文化資源を感じられる公園として活用したい。

問 実際に、この答弁を実現するためにどのように取り組むのか。

答 いつ来ても新しい発見があるようなイベントの開催や、年間を通して花が楽しめる、子供連れで安心して滞在できるような公園とするため、地域住民の方やボランティアの方々との協力を頂き、

実現に向け取り組んでいきたい。

問 平成25年度のニュータウンふくしプラザの運営費用は。

答 社会福祉協議会に委託しており、委託料として1000万円支出。

問 は一とん力フェスタの運営費用は。

答 本年2月開設から3月までは98万円、平成26年度は135万円の予算を計上。

問 常に利用している方と新しく利用する方の比率は。

答 両施設とも把握していない。



復元した古代窯がある農村公園

野田 小百合 議員



ニュータウン再生事業

住民と一緒に検討を

町民との協働を基調に進めている

問 福祉・健康複合施設を作り、ニュータウンを整備する計画がある。事業の概要はどのようなか。

答 国の都市再構築戦略事業を活用し、財源確保を図り、旧松栄小学校敷地への複合施設整備などに組みみたい。

高齢者から子育て世代までが安心して暮らせる多世代交流型のまちづくりを目標としている。

多世代活動交流センターの耐震化、旧松栄小学校敷地全体の整備事業などを考えている。

問 住民どのように協働し、進めていくのか。

答 複合施設の検討に当たって、町民と町職員で構成するニア輝き協働チームを組織し、検討し、住民アンケートをとり、説明会を開催した。

様々な場面で、いただいた皆さんの意見・提案の中から都市再構築戦略事業の採択要件や財政負担などを考慮し選定したソフト事業を具体的に展開する際に、新たな組織の設置やワークショップ

プ等の開催を検討したい。想される。将来的に学校選択制や統廃合を考える時期がくるのではないか。

答 選択制は難しい。学校の統廃合は地域の生活や文化と深いつながりがあり、地域の意向を十分に踏まえて時間をかけて検討する必要がある。

一般論だが、複式学級が2学級になると予測される段階で、統合に向けての話が進む。関係者が十分に話し合い、納得する必要がある。

問 今は地域の特徴を生かして学校づくり、地域づくりに全力をあげている。



地域の特徴を生かして学校づくり、地域づくり

空き家対策

空き家条例の制定を

必要であると認識している

問 鳩山町の空き家の状況は。

答 平成20年の住宅・土地統計調査の結果によると690戸。現在の空き家についてもある程度増加しているものと推測される。

問 ニュータウンの空き家の調査を計画しているようだが、どのように行うのか。

答 現在、福祉健康複合施設を中心拠点施設とする鳩山ニュータウン地区都市再生整備計画の策定に向けて、国や県と事前協議を行っている。調査の方法、内容についてまだ具体的に詰めている段階ではない。

問 倒壊の恐れがある空き家の対策は。

答 町では特に空き家対策を行っていない。空地について対応している環境保全条例の規定に基づいて適正管理に改善するよう指導しているがすべてに対

応していただけないのが現状である。

問 空き家に対して町が指導、勧告、命令、行政代執行などを行う条例を考えてはいるか。

答 町の今後の空き家の発生状況を推測すると、空き家の管理に関する条例の制定は必要であるものと認識している。空き家問題解決のポイントはいかにして所有者に自主的に解体処理してもらうかということである。

問 「空き家条例の制定は必要があることは認識している。」ということだが課題は何か。

答 空き家について所管課が具体的に決まっていないうこと。今のところ相談等が寄せられていないなどで、対応が遅れている。



中山 明美 議員



家屋が見えない空き家

根岸 富一郎 議員



6次産業推進

あんずだけで生計が立つのか

目的は6次産業化(農業・加工・販売)の推進

問 保育料は。所得に依りて、幼稚園は5段階、保育園は7から8段階になる。

答 所得に依りて、幼稚園は5段階、保育園は7から8段階になる。

問 「1日11時間、または1日8時間」の規定は。また、それを越えて預ける場合は。

答 フルタイムは11時間とし、パートは8時間が規定の保育時間となる。それを超えると延長保育になり、休日保育も利用できる。

問 一般原則に「生活の場」の記述がない。放課後児童一般の子どもと一緒に受け入れる施設ではないか。

答 国の基準通りだ。子ども・子育て支援法では「…地域の実情に応じて…行わなければならない」とあるが。

問 指摘されたことを研究させていただく。

答 目的は、6次産業化の推進事業として、あんずの里づくりを行うこと、それにより農村社会の活性化、農地・里山保

全ができる。

問 町は、あんずの里づくりにどのように関わっていくのか。

答 平成28年12月まで農地を借りているので、それまでに農業生産法人を立ち上げていただき、町は、町の事業として補助金を活用し、農業生産法人を支援していく。

問 次期ごみ処理組合管理者は、鳩山町長とすべきではないか。

答 故障時など、迅速な対応がとれるように地元からも声がある。正副管理者会議で協議になれば、その考えを表明したい。

問 町内のNPO法人彩西ナースィングケアで、医療相談・訪問看護も併せて行っていたか。

答 町の地域包括支援センターの役割は何か。社会福祉協議会と連携して生活支援センターの機能をもたせたい。

問 法改正で、要支援の方々がそういう生活支援を受けることになるが、担い手は誰か。

答 訪問介護は社協の「ふれあい在宅サービス」「ニュータウン新自治会の「お助け隊」「介護支援ボランティア」、通所介護は「ニュータウンふくしプラザ」「はーとんカフェ今宿」「地域健康教室」などが考えられる。

問 医療機関とどう連携していくのか。

答 訪問診療は町内医療機関に対応していただく。通所リハビリは麻見江ホスピタルに実施していただく予定だ。



あんず狩り一元更埴市視察研修プロジェクト委員会

松田 隆夫 議員



地域包括ケア

福祉・健康複合施設の中身を伺う

医療・介護を一体的に展開していく

問 福祉・健康複合施設のコンセプトは何か。

答 高齢化社会に対応して医療・介護を一体的に展開していくことだ。

問 どんな施設か。

答 旧松栄小跡地に、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護、付帯施設として療養通所介護・地域包括支援センター・地域の交流スペース、福祉レストランも設置する。

問 開所予定はいつか。

答 平成29年2月頃。

問 特養については、町民の優先入所が図られてよいケースだ。県と協議していただきたい。

答 最大限努力する。

問 療養通所介護とはどのような施設か。

答 在宅の医療依存度の高い方のケア施設だ。運営主体はどこか。

問 町内のNPO法人彩西ナースィングケアで、医療相談・訪問看護も併せて行っていたか。

答 町の地域包括支援センターの役割は何か。社会福祉協議会と連携して生活支援センターの機能をもたせたい。

問 法改正で、要支援の方々がそういう生活支援を受けることになるが、担い手は誰か。

答 訪問介護は社協の「ふれあい在宅サービス」「ニュータウン新自治会の「お助け隊」「介護支援ボランティア」、通所介護は「ニュータウンふくしプラザ」「はーとんカフェ今宿」「地域健康教室」などが考えられる。

問 医療機関とどう連携していくのか。

答 訪問診療は町内医療機関に対応していただく。通所リハビリは麻見江ホスピタルに実施していただく予定だ。



はーとんカフェ今宿

小鷹 房義 議員



除雪対策

生活道路まで踏み込んだ除雪は可能か

通院されている方を考えていく

問 大雪時の対応マニュアルは必要と思うが、

答 鳩山町地域防災計画あるいは対応マニュアルは近隣市町村も調査して考えていく。

問 除雪の判断はだれが指示を出すのか。

答 担当課で検討し、総務課長、副町長、町長に伝え、担当課で判断。

問 生活道路で病院通の方や困っている方の道路は細かいところまで目が届く地域の業者に除雪をお願いできないか。

答 そういったことを考えると、小規模業者にお願いして何とか車両が通行できるようにすることが有効と考える。

問 通学路の状況はどのように対処したか。

答 どの学校も教職員が通学路で安全指導をした。中学校では自転車通学の禁止、部活動も中止した。

問 小中学校には災害対応マニュアルはあるか



鳩山の「暑いぞ、寒いぞ」アメダス観測

問 熊谷市では、夏の暑さを売りに「あついぞ熊谷」と銘打って事業を展開しているが、鳩山町でも暑さを売りに何か考えられないか。

答 暑さを売りにして町を活性化することは十分に可能と思うが、暑さは、住む人にとってマイナス要因にもなるので、暑さを味方にするような事業を検討していきたいと思う。

町の活性化

今後の企業誘致の取り組みを伺う

県・進出企業と密接に情報交換を図る

石井 計次 議員



問 町税など長期的減収が予測される。良品計画、鳩山センターが本年11月に本稼働される。

企業誘致は就労の場の確保、固定資産税収入など新たな税収が期待できる。今後積極的に取り組むべきと考えるが現状では立地可能な都市計画法上の受け皿がない。

問 町の考えを伺う。

答 「企業が進出できない用地が存在するか」との問い合わせがあるが、「本町では現在対応できない用地はない」と回答している。良品計画・鳩山センターの稼働に伴い、新たに都市計画法第34条12号（総量規制20ヘクタール）の指定を受けられる可能性がある。

町の活性化、財政の安定化を考え、県・企業と連絡を密に積極的に取り組んでいく。

問 ボランティア活動について有償・無償で活動されている方の状況について伺う。

問 後継者の対策を伺う。

答 学校では大変教育的価値があると考えている。具体的には、社会福祉協議会主催のボランティア体験に小・中学生64人参加。このような取り組みで将来、世界のために尽くす心が育つていけば、すばらしいことと思っている。

問 有償・無償についてなど、町では組織の拡充についてどのような検討をされているか伺う。

答 今、求められているのは地域の助け合いの仕組みづくりと認識している。ボランティアのあり方を研究していく。



11月に稼働する良品計画・鳩山センター

小峰 文夫 議員



企業誘致

良品計画従業員、面接に何人来たか

鳩山町から120人、町外から55人

問 奥田地区の良品計画もいよいよ11月から稼働することが決まり、従業員の面接も始まったが、何人の方が面接に来たか。

答 良品計画の面接は、6月16日の月曜日から面接予約の受付を開始し、7月1日の火曜日から順次面接をしたとのこと。面接者数については、鳩山町在住の方が120人、町外在住の方が55人の合計175人。

問 良品計画鳩山センターへ、新潟の配送センターが移設してくると聞いたが、いつ頃わかるか。

答 新潟県長岡調達センターが鳩山センターに移設予定の時期は、平成27年の9月頃と聞いている。また機能移転による従業員募集は80人くらい検討していると聞いている。

今宿小学校について

問 今宿小学校校舎南側ベランダの手すりの鉄骨部分が錆びているが、塗装を大至急できないか。

答 このままの状況にしておくことは、安全上や景観上よくないので、教育委員会として来年度予算で塗装をしていく。

問 今宿小学校プールと体育館の西側にある大木と校舎西側の大木の処理をして八重桜のような小さな樹木にできないか。

答 今宿小学校敷地内の樹木の処理については、来年度予算編成の中で予算要求をして実施していく。

隣接する民有地については、土地所有者に伐採等を求めた適正管理をお願いしていく。



今宿小学校西側の通学路雑木

一部事務組合報告

坂戸地区衛生組合

6月26日臨時議会が開かれ、議長の選挙が行われました。結果、議長には坂戸市の石井寛議員が選出されました。

8月4日第3回定例会が開会されました。提出された議案は、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定の1件で全員一致で可決・認定されました。(小川)

埼玉西部環境保全組合

8月12日に第2回定例会が開催されました。

主な議案は平成26年度一般会計補正予算、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定でした。補正予算は川角リサイクルプラザ運転操作システム更新に関わるものです。

10月から高倉クリンセンターの運転時間が、2炉24時間に変更です。また、坂戸市の西清掃センター改修工事に伴うごみ処理を来年の6月から受託します。(野田)

西入間広域消防組合

6月19・20日に議員研修が実施されました。

19日は「神田川・環状7号線地下調整池」で洪水の軽減施設と、神奈川県藤沢市の消防局ワークステーションで、医師同乗救急出動等による救命率向上の説明を受けました。

20日は横須賀市にて津波等の災害を人工的に再現している被害軽減策研究施設を視察しました。

7月2日臨時議会が開催されました。提出された議案は①火災予防条例の一部を改正する条例と②平成26年度一般会計補正予算でした。(日坂)

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

8月8日、第2回定例会が開催されました。提出された議案は1件で、平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めるものです。慎重審議の結果、認定されました。(森)

8月8日、第2回定例会が開催されました。提出された議案は1件で、平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めるものです。慎重審議の結果、認定されました。(森)

広域静苑組合

第2回定例会が8月11日に開かれました。議案は平成25年度一般会計歳入歳出決算認定議案1件で、慎重審議の結果、認定されました。(小峰)

平成25年度一部事務組合の決算状況

名称	歳入額	歳出額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	3億2664万円	2億7301万円	0円	3402万円
埼玉西部環境保全組合	18億7121万円	17億8016万円	2億1652万円	20億4605万円
西入間広域消防組合	12億1559万円	12億254万円	2億3423万円	5818万円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	16億5105万円	16億1169万円	71億9359万円	
広域静苑組合	1億2750万円	1億964万円	0円	4800万円
合計	51億9199万円	49億7704万円	76億4434万円	21億8625万円